

令和6年度  
帯広市小中学生  
読書アンケート調査結果  
報告書

令和6年11月  
帯広市教育委員会

# 目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査対象及び調査方法	2
3 回答内訳及び調査実施校	2
4 調査実施担当	2

II 設問別調査結果	3
問1 学校の授業以外で平日（月～金曜日）に、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。	4
問1-1 問1のうち、スマホやパソコンなどで、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。	6
問2 学校の図書室に、1ヶ月の間にどのくらい行きますか。	7
問3 1ヶ月の間に何冊ぐらい本を読みますか。 今読んでいる本や漫画、雑誌も入れてください。	8
問3-1 問3のうち、何冊ぐらい雑誌や漫画を読みますか。	9
問3-2 問3のうち、何冊ぐらいスマホやパソコンなどで読みますか。	10
問4 読んだ本はどこで出会った本が多いですか。	11
問5 今年は、昨年と比べて本を読む機会は増えましたか。	12
問6 あなたは、小学校に入る前、家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか。	13
問7 あなたは本を読むのが好きですか。	14
問7-1 問7で③、④と回答した方は、その理由を教えてください。	15
分析-1 問6の各回答毎の問7の回答の内訳	16
問8 どんな図書館なら（もっと）行ってみたいと思いますか。	17
問8-1 問8で⑥と回答した方は、その内容を教えてください。	18
総評	19

III 参考	20
1 読書に対する意識の経年比較	21



## I 調査の概要

---

## 1 調査の目的

帯広市の子どもたちの読書に対する意識や実態を毎年調査し、第四期帯広市子どもの読書活動推進計画の点検・評価を行うとともに、図書館運営、読書活動推進にあたっての参考資料とする。

<参考 第四期計画の取組目標>

- ① 読書が好きな子どもの割合【増加】
- ② 学校の授業時間以外に、平日一日当たり10分以上読書をする子どもの割合【増加】
- ③ 1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合【減少】

## 2 調査対象及び調査方法

調査対象：帯広市内の小学4年生～中学3年生

調査数：小学生666人（13校）、中学生594人（7校） 合計1,260人

回答数：小学生586人（13校）、中学生505人（7校） 合計1,091人 回答率（86.59%）

調査期間：令和6年5月22日（水）～6月20日（木）

調査方法：児童生徒一人一台端末および北海道電子自治体共同システム「HARP」を使用した電子アンケートを実施。（無記名）

## 3 回答内訳及び調査実施校

<回答内訳> （合計1,091人）

小学生	4年生	5年生	6年生	合計	中学生	1年生	2年生	3年生	合計
調査対象	217	264	185	666	調査対象	221	215	158	594
有効回答	193	225	168	586	有効回答	198	176	131	505
回答率	88.9%	85.2%	90.8%	88.0%	回答率	89.6%	81.9%	82.9%	85.0%

<調査実施校> （合計20校）

小学生	4年生	5年生	6年生	合計	中学生	1年生	2年生	3年生	合計
市街地区	北栄	豊成	森の里	10校	市街地区	第一	第八	西陵	5校
	帯広	若葉	広陽			緑園			
	東	大空学園	開西			大空学園			
	光南								
農村地区	川西・広野・愛国			3校	農村地区	川西・第七			2校

## 4 調査実施担当

帯広市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化室 図書館

帯広市西2条南14丁目3番地

電話 0155-22-4700

## Ⅱ 設問別調査結果

---

### <報告書中の表記>

- 本報告書では、特に断りのない限り集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入している。
- 各設問のグラフには、「無回答」及び「不明」は掲載していないため、回答比率の合計が100%にならないことがある。

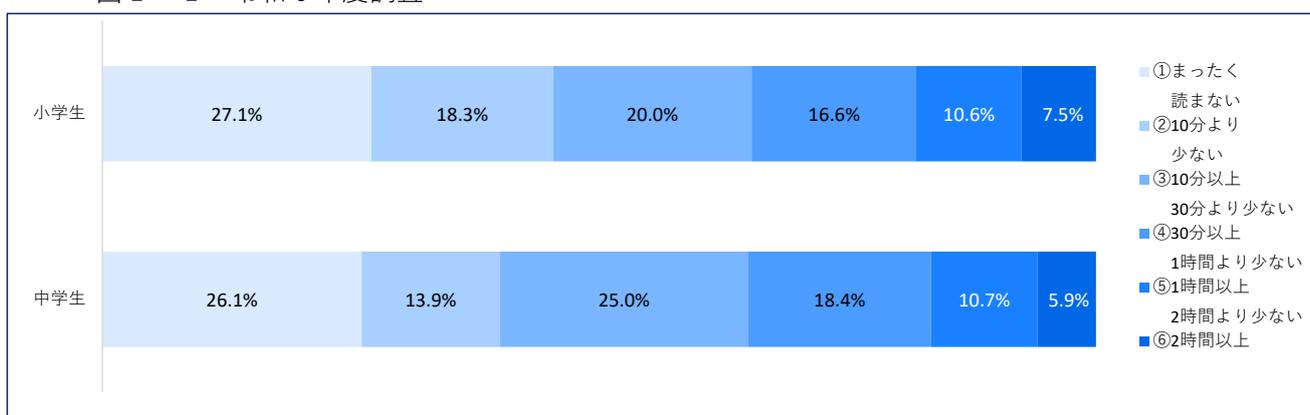
問1 学校の授業以外で平日（月～金曜日）に、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。  
（漫画、雑誌を含む）

概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」という回答が最も多い。  
また、10分以上読む小学生は54.7%（R5：59.7% 差：△5pt）、中学生は60.0%（R5：65.9%  
差：△5.9pt）となっている。特に「①まったく読まない」数値が高いのは小学5年生が33.3%、  
中学2年生が28.8%となっている。

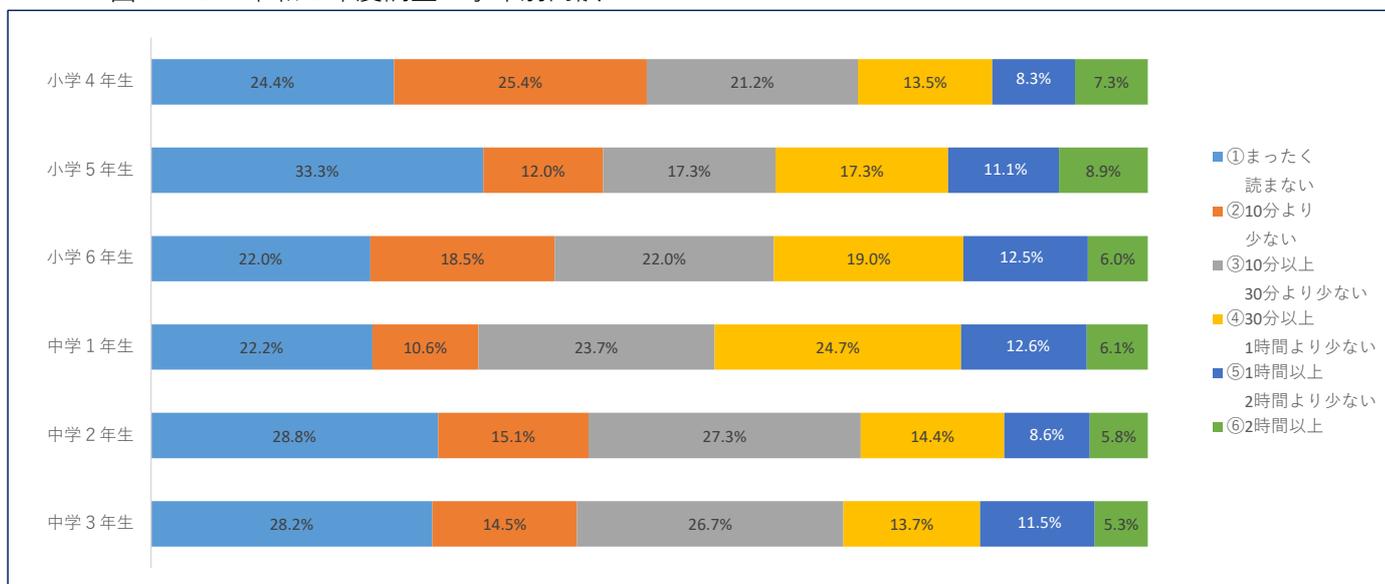
令和6年度調査

	①まったく 読まない	②10分より 少ない	③10分以上 30分より少 ない	④30分以上 1時間より少 ない	⑤1時間以上 2時間より少 ない	⑥2時間以上
小学生	27.1%	18.3%	20.0%	16.6%	10.6%	7.5%
中学生	26.1%	13.9%	25.0%	18.4%	10.7%	5.9%

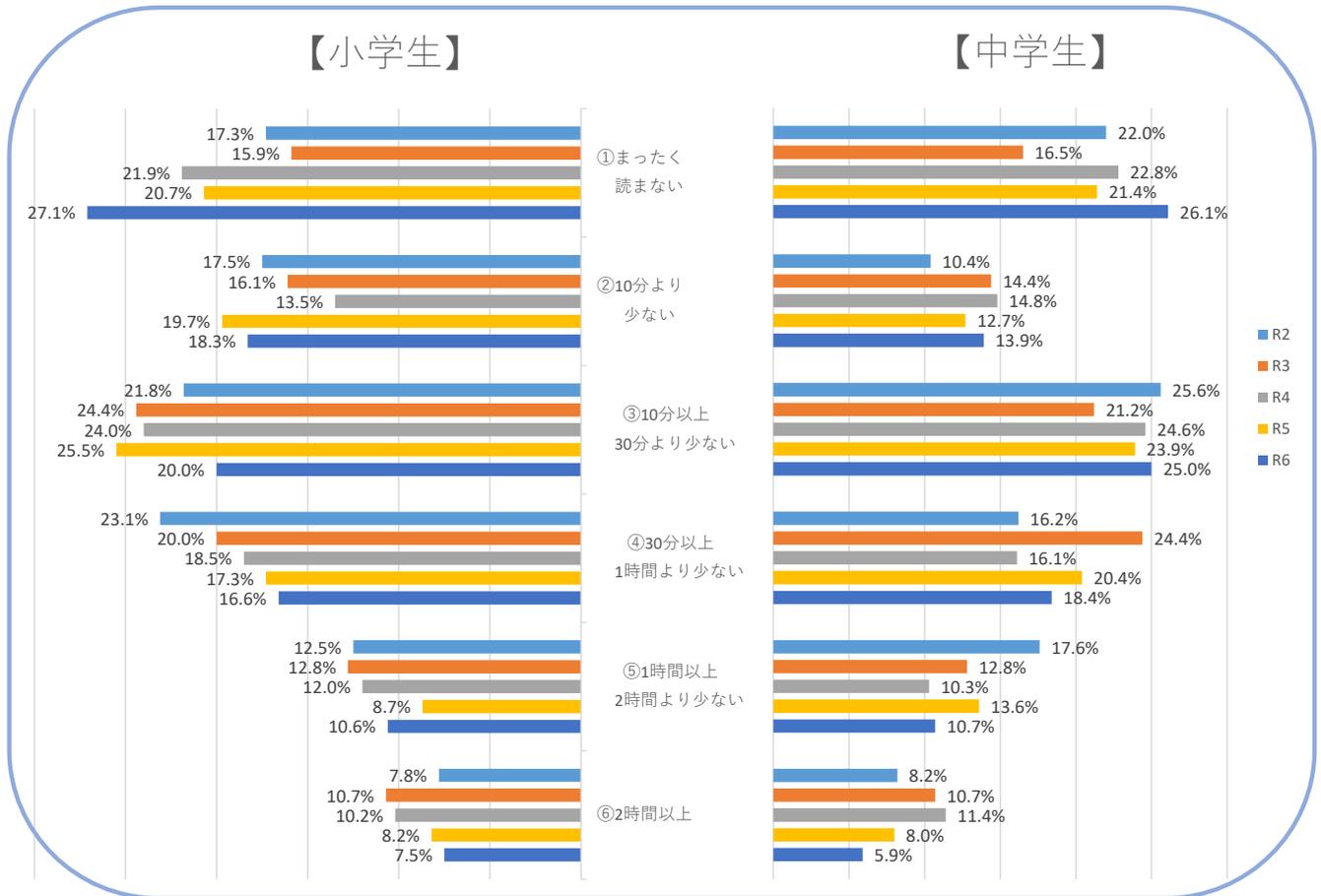
<図1-1 令和6年度調査 >



<図1-2 令和6年度調査 学年別内訳 >



<図1-3 第四期計画（R2～）以降の推移 >



問1-1 問1のうち、スマホやパソコンなどで、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。

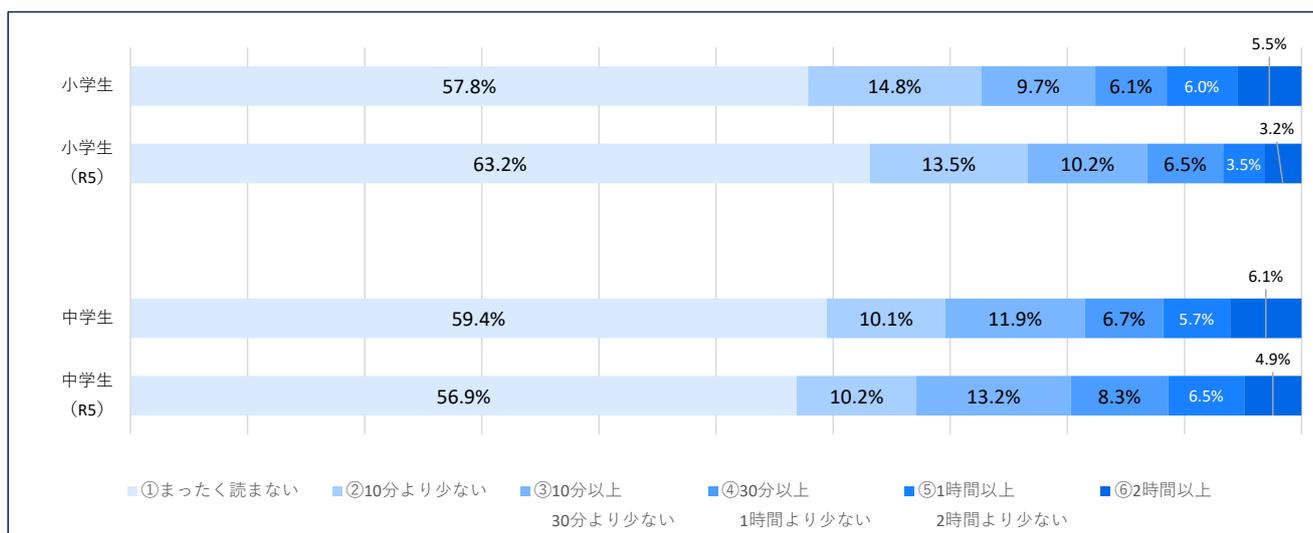
概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」という回答が最も多い。

小学生のうち、10分以上スマホやパソコンで読書をするのは27.3%（R5：23.4% 差：3.9pt）、中学生は、30.4%（R5：32.9% 差：△2.5pt）と減少傾向にある。

令和6年度調査

	①まったく読まない	②10分より少ない	③10分以上30分より少ない	④30分以上1時間より少ない	⑤1時間以上2時間より少ない	⑥2時間以上
小学生	57.8%	14.8%	9.7%	6.1%	6.0%	5.5%
中学生	59.4%	10.1%	11.9%	6.7%	5.7%	6.1%

<図1-1-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



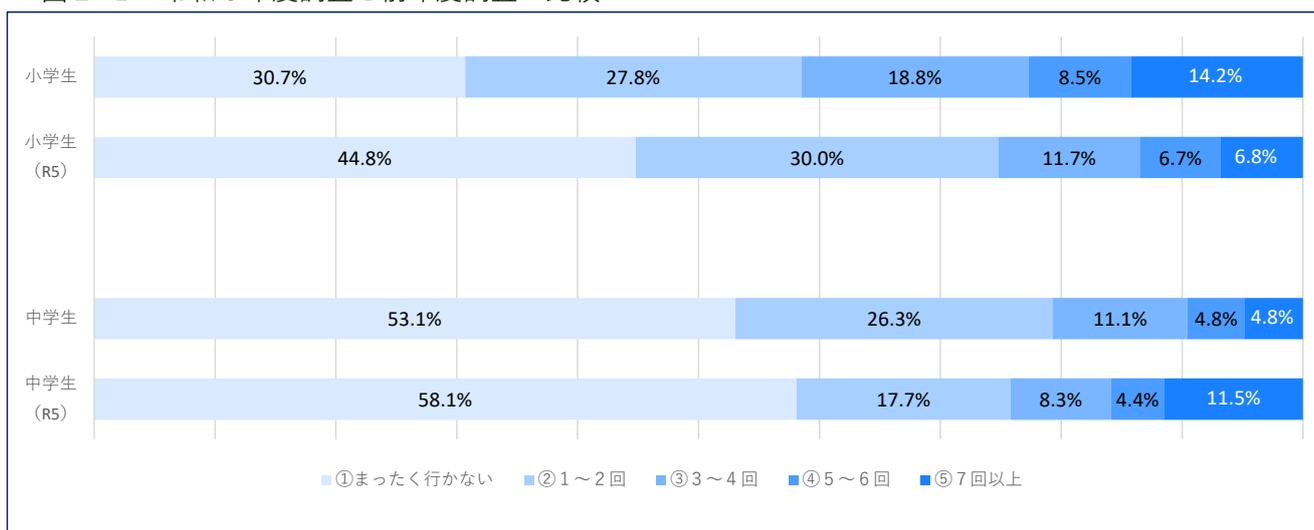
問2 学校の図書室に、1ヶ月の間にどのくらい行きますか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく行かない」という回答が最も多いが、小学生が30.7%（R5：44.8% 差：△14.1pt）、中学生が53.1%（R5：58.1% 差：△5pt）と令和5年度と比較して減少し、②～⑤の選択肢の合計が増加している。  
また、小学生においては③～⑤の合計が41.5%（R5：25.2% 差：16.3pt）と、読書の機会が増加傾向にある。

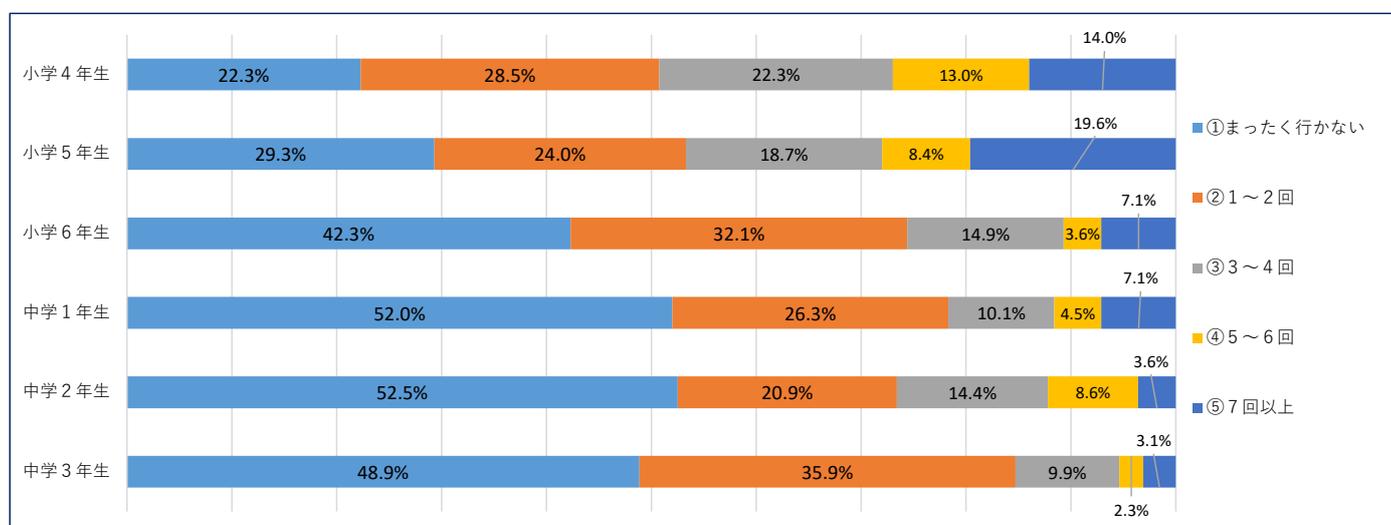
令和6年度調査

学校名	①まったく行かない	②1～2回	③3～4回	④5～6回	⑤7回以上
小学校	30.7%	27.8%	18.8%	8.5%	14.2%
中学校	53.1%	26.3%	11.1%	4.8%	4.8%

<図2-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



<図2-2 令和6年度調査 学年別内訳 >



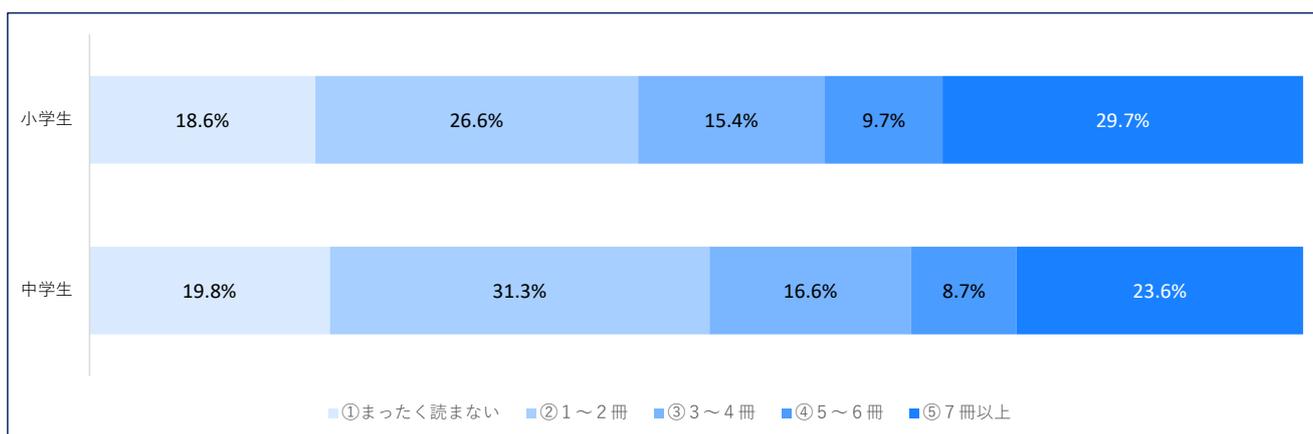
問3 1ヶ月の間に何冊ぐらい本を読みますか。  
今読んでいる本や漫画、雑誌も入れてください。

概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」を選択する児童生徒が第四期計画において過去最多となった。同様に、②～⑤の選択肢を過去4年間分と比較した場合、「②1～2冊」のみ増加、他③～④はおおむね減少しているため、小中学生どちらにおいても1人あたりの読書量は減少傾向にあるといえる。

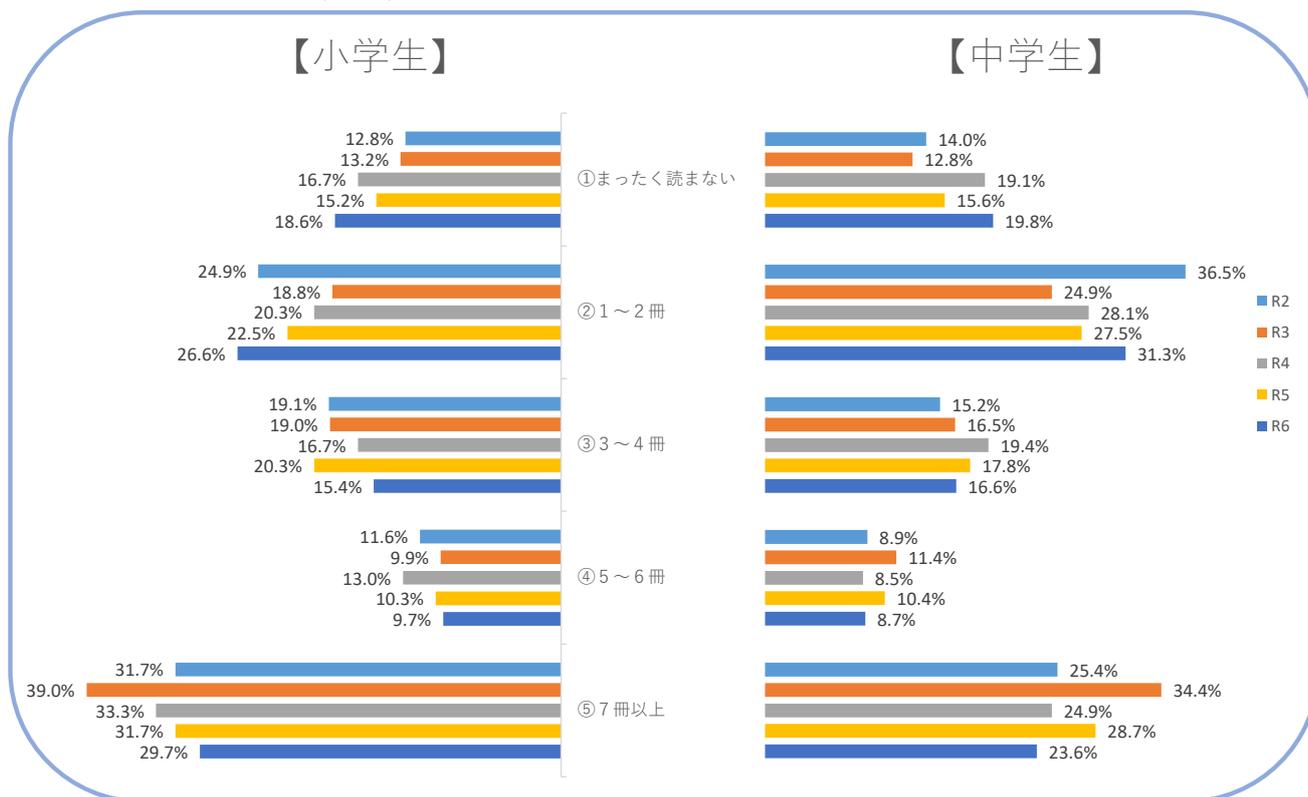
令和6年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	18.6%	26.6%	15.4%	9.7%	29.7%
中学生	19.8%	31.3%	16.6%	8.7%	23.6%

<図3-1 令和6年度調査>



<図3-2 第四期計画（R2～）以降の推移 >



【第四期取組目標】

問3-1 問3のうち、何冊ぐらい雑誌や漫画を読みますか。

(問3のうち、②～⑤の「1冊以上本を読む」と回答した人のみ回答)

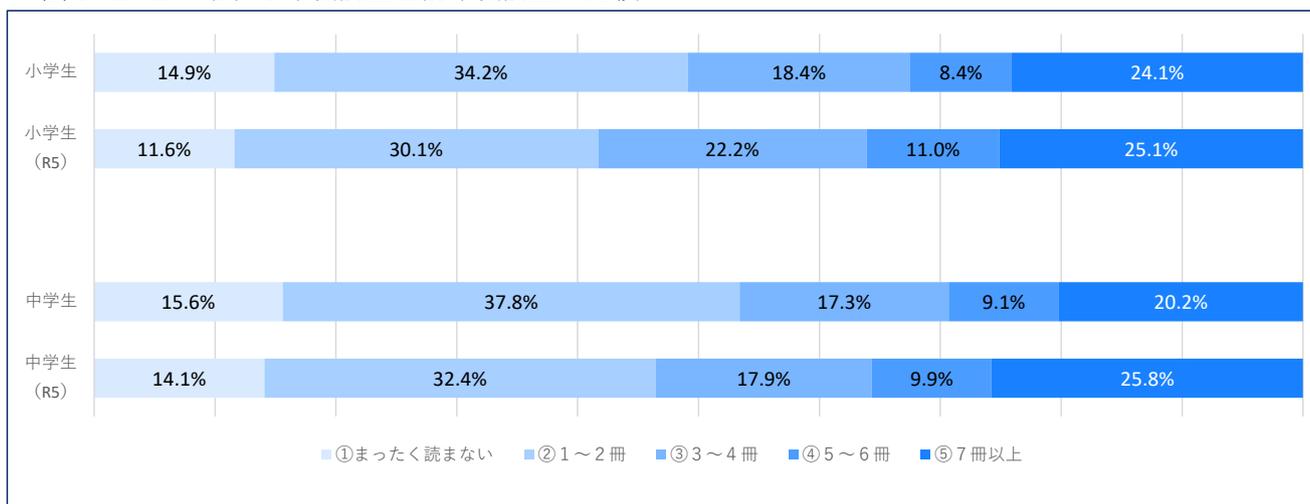
概要 小中学生どちらにおいても、「②1～2冊」読むという回答が最も多い。

令和5年度と比較すると、小中学生どちらにおいても2冊以下と回答した児童生徒が増加し、全体の約半数を占めている。

令和6年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	14.9%	34.2%	18.4%	8.4%	24.1%
中学生	15.6%	37.8%	17.3%	9.1%	20.2%

<図3-1-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



問3-2 問3のうち、何冊ぐらいスマホやパソコンなどで読みますか。

(問3のうち、②～⑤の「1冊以上本を読む」と回答した人のみ回答)

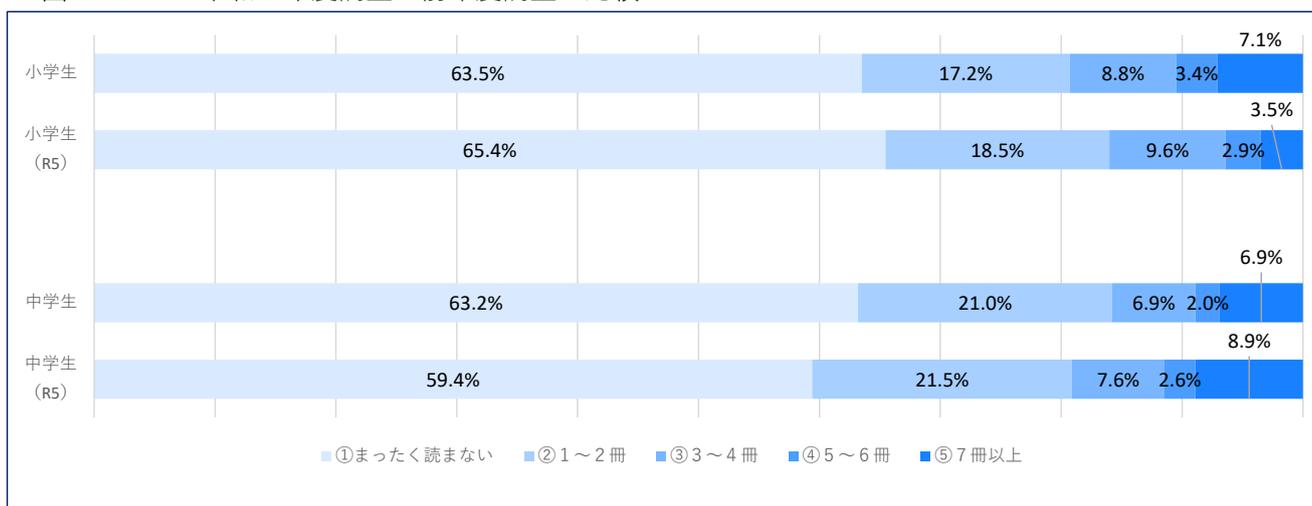
概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」という回答が最も多い。

令和5年度と比較した場合、小学生は「⑤7冊以上」が7.1% (R5: 3.5% 差: 3.6pt) と増加している。中学生においては「①まったく読まない」が63.2% (R5: 59.4% 差3.8pt)、②～⑤においては若干減少と、電子媒体による読書が減少した。

令和6年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	63.5%	17.2%	8.8%	3.4%	7.1%
中学生	63.2%	21.0%	6.9%	2.0%	6.9%

<図3-2-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



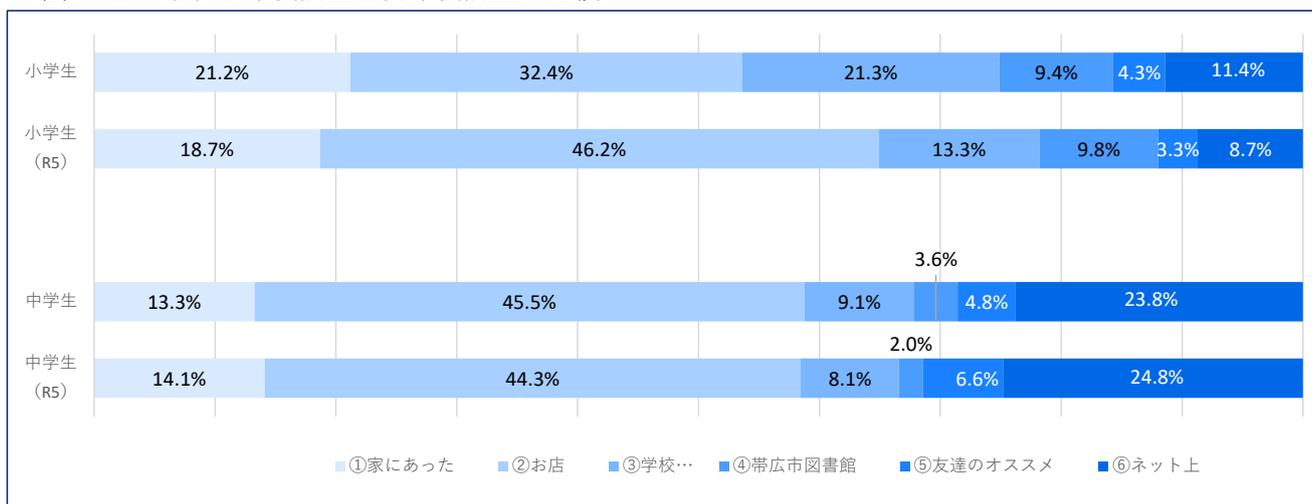
問4 読んだ本はどこで出会った本が多いですか。

概要 小中学生どちらにおいても、「②お店」という回答が最も多いが、令和5年度と比較すると減少しており、小学生においては32.4%（R5：46.2% 差：△13.8pt）と大幅に減少している。中学生はほぼ変わらない結果となったが、令和5年度同様インターネットを通じた本との出会いは小学生と比べ中学生において割合が大きい。

令和6年度調査

	①家にあった	②お店	③学校(教室・図書室)	④帯広市図書館	⑤友達のオススメ	⑥ネット上
小学生	21.2%	32.4%	21.3%	9.4%	4.3%	11.4%
中学生	13.3%	45.5%	9.1%	3.6%	4.8%	23.8%

<図4-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



問5 今年は、昨年と比べて本を読む機会は増えましたか。

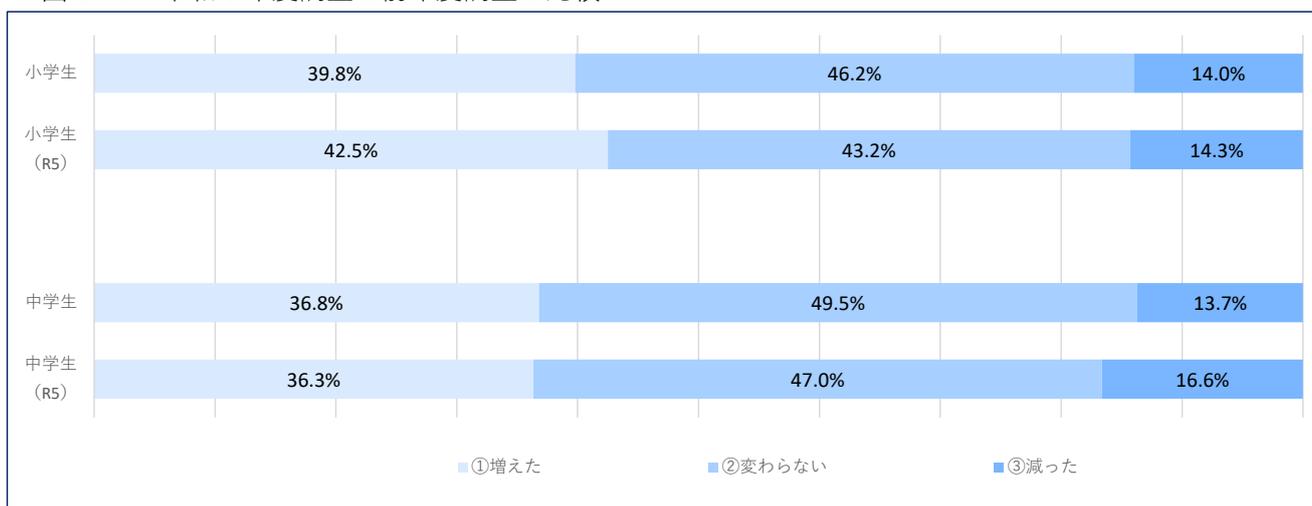
概要 小中学生どちらにおいても、「②変わらない」という回答が最も多い。

約半数が変わらないと回答した中で、「①増えた」を選択した児童生徒の割合が「③減った」を選択した割合を上回っている。

#### 令和6年度調査

	①増えた	②変わらない	③減った
小学生	39.8%	46.2%	14.0%
中学生	36.8%	49.5%	13.7%

<図5-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



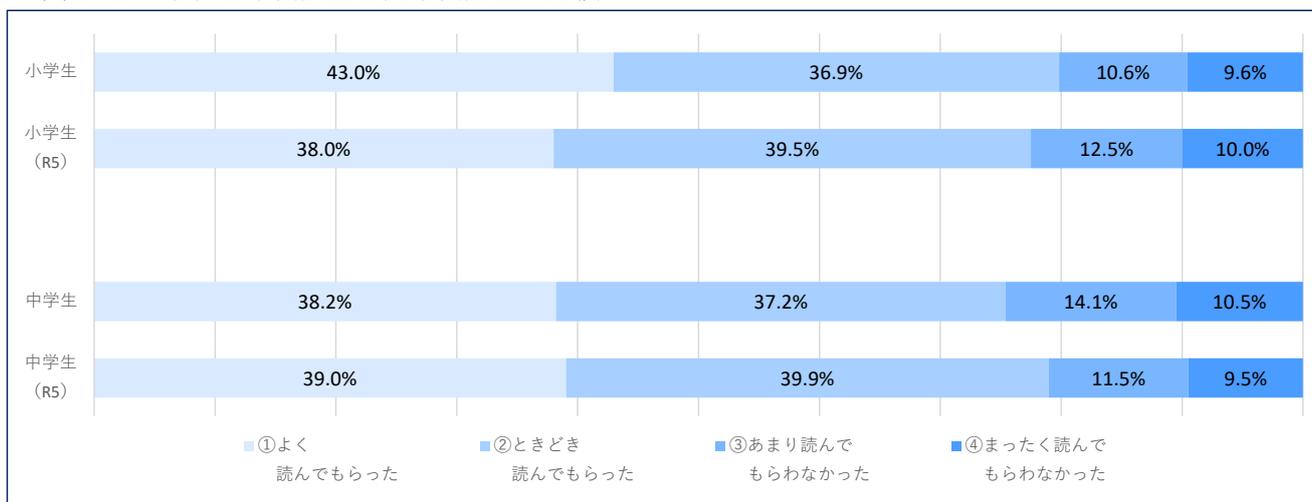
問6 あなたは、小学校に入る前、家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①よく読んでもらった」「②ときどき読んでもらった」を合わせて回答の約8割を占めている。令和5年度と比較と小学生においては「①よく読んでもらった」が43.0%（R5：38.0% 差：5pt）と増加している。しかし、反対に中学生は「③あまり読んでもらわなかった」と「④まったく読んでもらわなかった」を合わせた回答が24.6%（R5：21.0% 差：3.6pt）と増加している。

令和6年度調査

	①よく 読んでもらった	②ときどき 読んでもらった	③あまり読んで もらわなかった	④まったく読んで もらわなかった
小学生	43.0%	36.9%	10.6%	9.6%
中学生	38.2%	37.2%	14.1%	10.5%

<図6-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



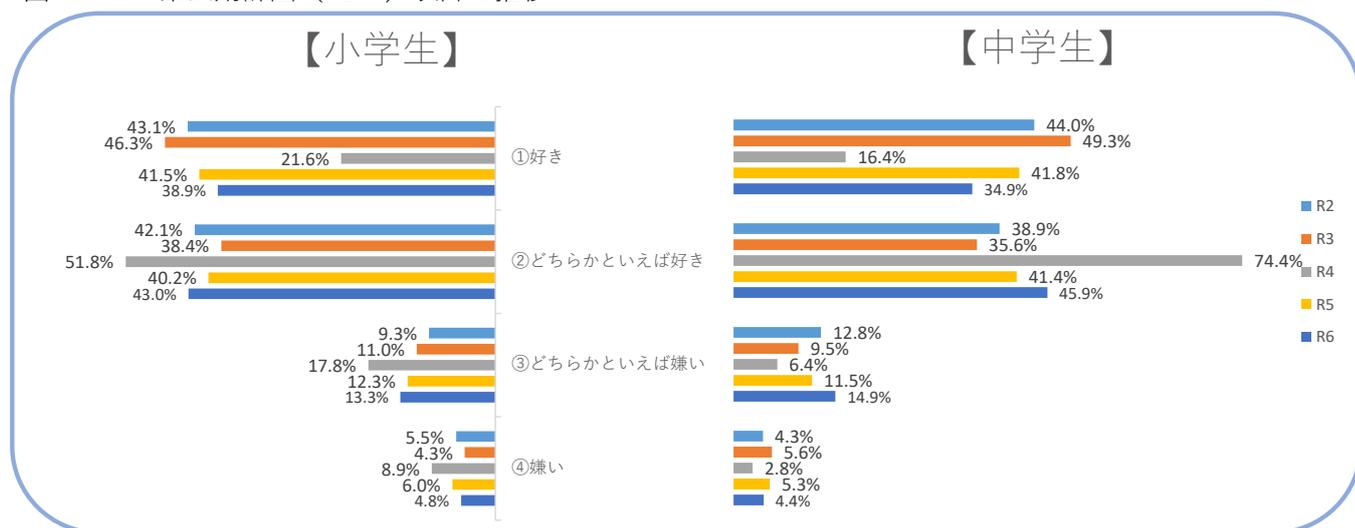
問7 あなたは本を読むのが好きですか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①好き」「②どちらかといえば好き」を合わせて回答の約8割を占めている。今年度の回答割合は第四期計画の中では平均的である一方で、中学生においては「③どちらかといえば嫌い」「④嫌い」を合わせた回答が19.3%と、計画内過去最多となった。

令和6年度調査

	①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い
小学生	38.9%	43.0%	13.3%	4.8%
中学生	34.9%	45.9%	14.9%	4.4%

<図7-1 第四期計画（R2～）以降の推移 >



【第四期取組目標】（参考）

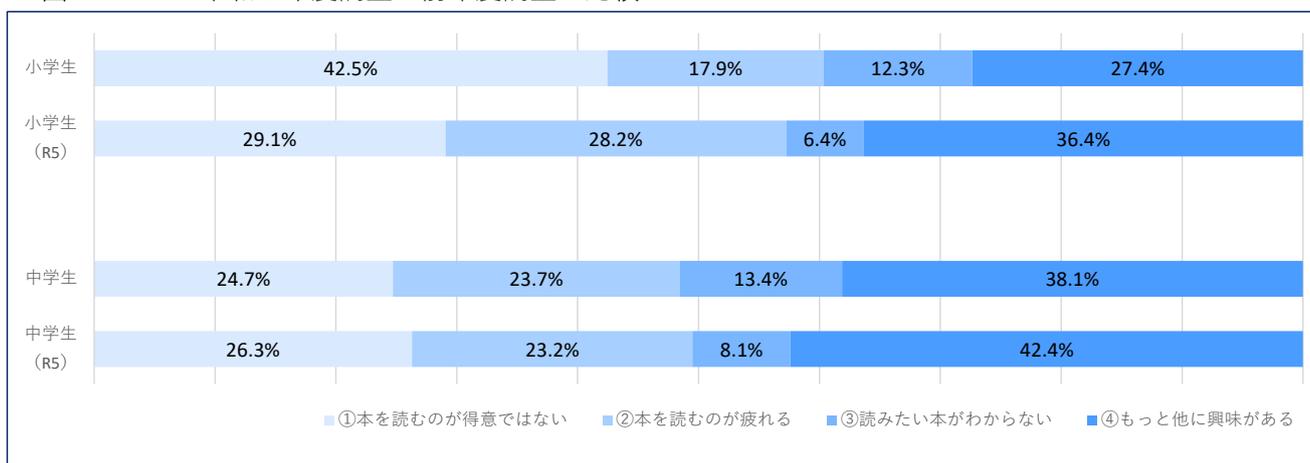
問7-1 問7で、③、④と回答した方は、その理由を教えてください。

概要 小学生においては「①本を読むのが得意ではない」という回答が最も多く、42.5%（R5：29.1% 差：13.4pt）と令和5年度と比較しても大幅に増加した。中学生は令和5年度同様「④もっと他に興味がある」が最も多い回答であるが、38.1%（R5：42.4% 差：△4.3pt）と減少した。また、小中学生どちらにおいても「③読みたい本がわからない」が増加している。

令和6年度調査

	①本を読むのが得意ではない	②本を読むのが疲れる	③読みたい本がわからない	④もっと他に興味がある
小学生	42.5%	17.9%	12.3%	27.4%
中学生	24.7%	23.7%	13.4%	38.1%

<図7-1-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



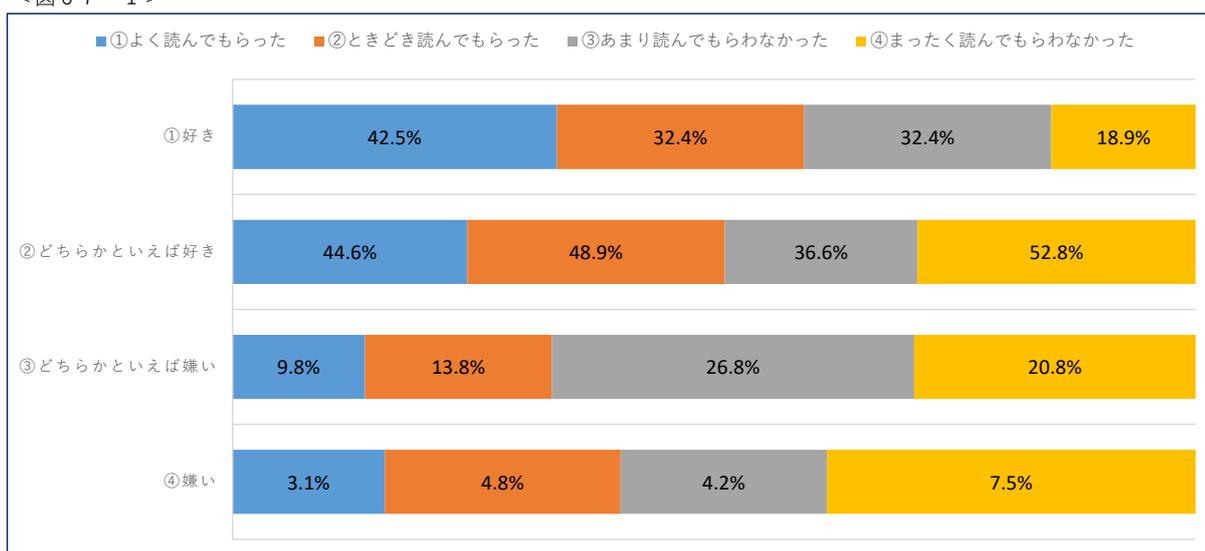
## 問6と問7のクロス集計

概要 問6で「①よく読んでもらった」と回答した児童生徒のうち、問7で「①好き」「②どちらかといえば好き」と回答した児童生徒は87.1%となり、よく読んでもらった児童生徒ほど、好きになる傾向が見られる。

### 問6の各回答毎の問7の回答の内訳

	①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い
①よく読んでもらった	42.5%	44.6%	9.8%	3.1%
②ときどき読んでもらった	32.4%	48.9%	13.8%	4.8%
③あまり読んでもらわなかった	32.4%	36.6%	26.8%	4.2%
④まったく読んでもらわなかった	18.9%	52.8%	20.8%	7.5%

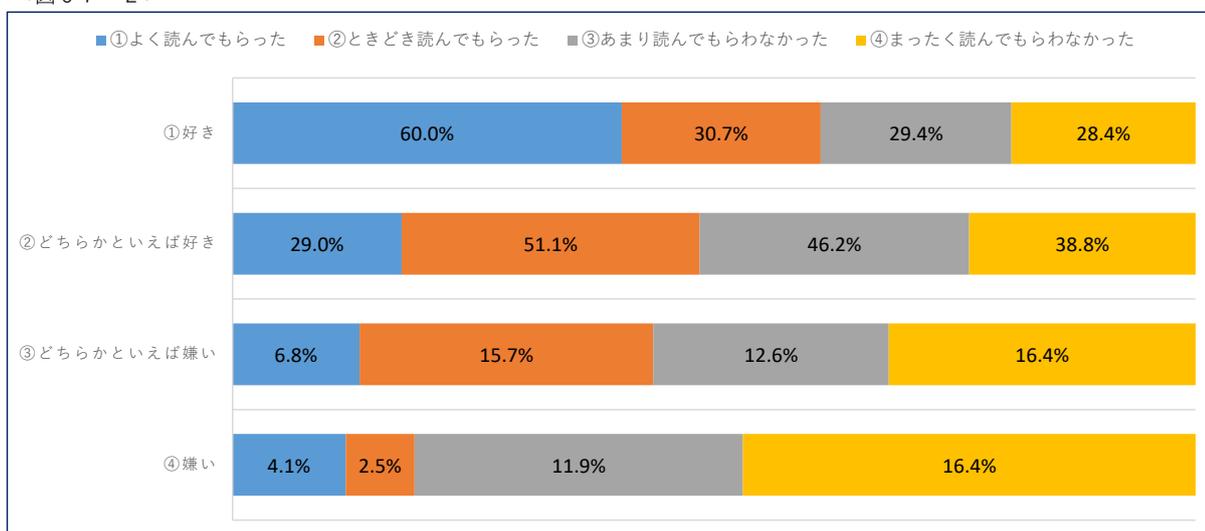
<図67-1>



### 令和5年度調査

	①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い
①よく読んでもらった	60.0%	29.0%	6.8%	4.1%
②ときどき読んでもらった	30.7%	51.1%	15.7%	2.5%
③あまり読んでもらわなかった	29.4%	46.2%	12.6%	11.9%
④まったく読んでもらわなかった	28.4%	38.8%	16.4%	16.4%

<図67-2>



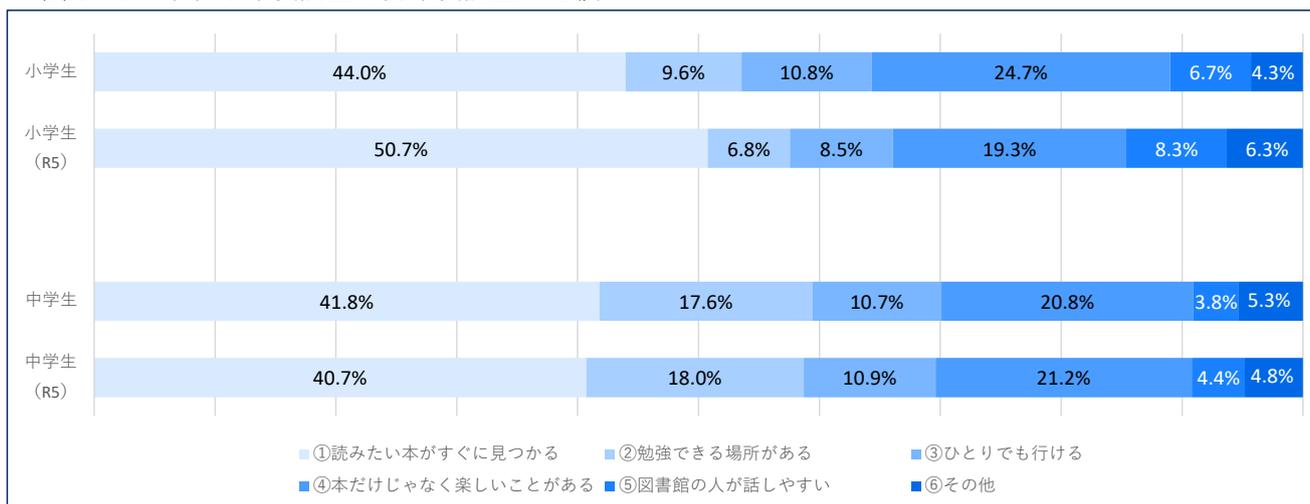
問8             どんな図書館なら（もっと）行ってみたいと思いますか。

概要    小中学生どちらにおいても、「①読みたい本がすぐに見つかる」という回答が多い。  
小学生と中学生を比較すると、小学生は居心地の良さを、中学生は勉強できる環境面をより重視する傾向がうかがえた。

令和6年度調査

	①読みたい本がすぐに見つかる	②勉強できる場所がある	③ひとりでも行ける	④本だけでなく楽しいことがある	⑤図書館の人が話しやすい	⑥その他
小学生	44.0%	9.6%	10.8%	24.7%	6.7%	4.3%
中学生	41.8%	17.6%	10.7%	20.8%	3.8%	5.3%

<図8-1 令和6年度調査と前年度調査の比較>



問8-1 問8で⑥と回答した方は、その内容を教えてください。

概要 自由記述の回答となっており、昨年度は約70件ほどあったが、今年度は52件、漫画をはじめ好きな本が充実することを望む声が多かった。

合計

分類項目	件数（件）
環境	10
蔵書	26
その他	16
合計	52

## 【総評】

### ① 読書状況について

1ヵ月の間に1冊でも本を読む児童生徒は全体の8割以上であり、なかでも7冊以上読む児童生徒が多い。本を読むことが好きと回答した児童生徒も8割以上という結果から、日頃から本を読む子どもは多いと推察されるものの、漫画や雑誌も多く含まれており、より活字に親しむための取り組みが必要と考える。

### ② 電子による読書状況について

小中学校ではICT環境の整備により一人一台端末が導入され、帯広市電子図書館も活用されるようになった。スマートフォンやパソコンでの読書は半数以上の児童生徒において利用がなく、家庭ごとに様々な運用やルールがあると想定されるが、今後も情報ツールは身近なものになると予想される。電子図書館の電子書籍は利用・返却が手軽にできるため、読書のきっかけづくりとして活用するとともに、電子媒体による事業等の周知も有効であると考えられる。

### ③ 本を手にする環境について

小中学生どちらにおいても読んだ本は書店で見つけた本が多い。そのような中、買い物ついでに気軽に立ち寄れる大型書店が減少したことにより、本に触れる機会がより少なくなっている状況にある。図書館は法に基づく資料収集や教育向上への取り組みなどの目的もあり、書店と同じ役割を担えるものではないが、施設見学などを引き続き受け入れることで図書館を知ってもらったり、子どもの興味をひく作品をPRするなど、図書館に足を運び本に触れてもらう取り組みが重要と考える。

### ④ 読書に苦手意識を持つ児童生徒について

本を読むのが嫌い、どちらかといえば嫌いと回答した児童生徒のうち、特に中学生において、「もっと他に興味がある」と多く回答している。勉学や部活動、友人関係、趣味など、いずれも大切にした上で、読書がこういった人生をより豊かに生きるために有用であることを知り、自主的な読書活動につなげることが第四期計画の狙いの一つでもある。図書館ではテーマに合わせた本の展示や、発達段階に応じたブックリストの配布など、本を選ぶためのサポートが必要と考える。

### ⑤ 図書館の運営について

本を読むのが嫌いな理由として、小学生では「本を読むのが得意ではない」の回答が4割を超えており、また、図書館に求めることとして「本だけじゃなく楽しいことがある」の回答が比較的多かった。ふだん読書に馴染みのない子どもであっても、まずは図書館に足を運び、身近なものとして感じてもらうよう、図書館まつりで行っている工作のような、本以外から図書館をPRする取り組みも効果的と言える。中学生においては「勉強できる場所がある」ことを望む声が比較的多く、一部事業で実施している部屋の開放など、来館につながる環境づくりも有効と考える。

### III 参考

---

# 1 読書に対する意識の経年比較

## 1 はじめに

本参考では、市内小中学生の読書に対する意識の推移について調査するべく、各期共通の設問「あなたは本を読むのが好きですか。」の回答結果の経年比較を調査する。

調査対象は子どもの読書活動推進計画においてアンケートを開始した第二期末の平成26年度回答、第三期末の令和元年度回答及び第四期各年の回答結果とする。

## 2 比較対象設問

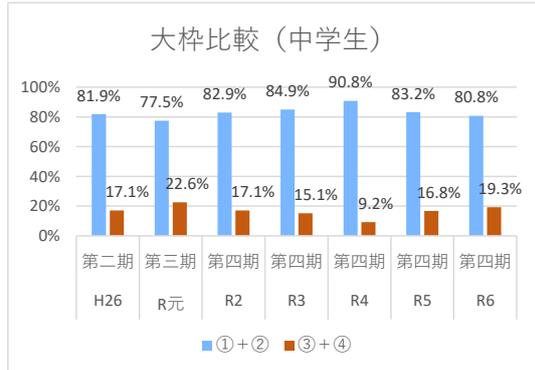
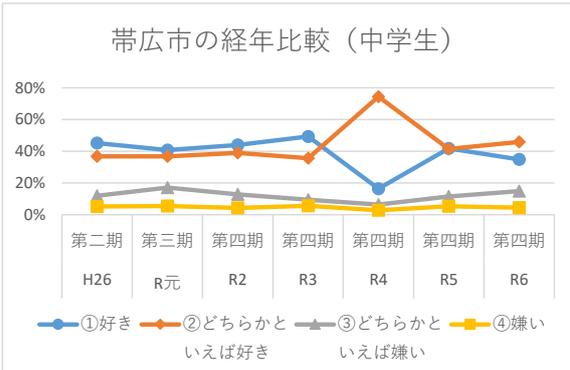
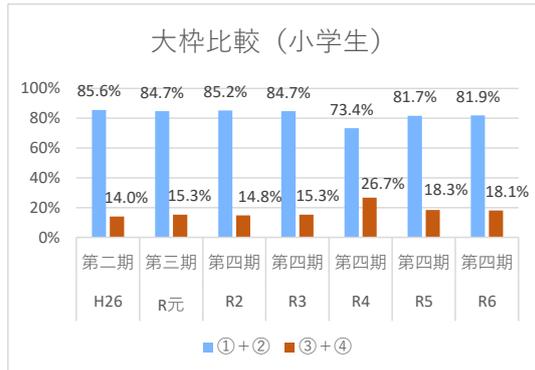
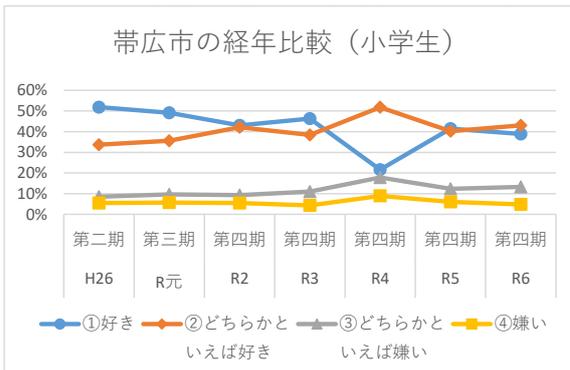
問. あなたは本を読むのが好きですか。（本アンケートにおいては問7）

〔回答項目〕			
①：好き	②：どちらかといえば好き	③：どちらかといえば嫌い	④：嫌い

## 3 集計結果

区分		①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い	①+②	③+④
小学生	H26 第二期	51.9%	33.7%	8.5%	5.5%	※ 85.6%	14.0%
	R元 第三期	49.1%	35.6%	9.6%	5.7%	84.7%	15.3%
	R2 第四期	43.1%	42.1%	9.3%	5.5%	85.2%	14.8%
	R3 第四期	46.3%	38.4%	11.0%	4.3%	84.7%	15.3%
	R4 第四期	21.6%	51.8%	17.8%	8.9%	73.4%	26.7%
	R5 第四期	41.5%	40.2%	12.3%	6.0%	81.7%	18.3%
	R6 第四期	38.9%	43.0%	13.3%	4.8%	81.9%	18.1%
中学生	H26 第二期	45.1%	36.8%	11.9%	5.2%	※ 81.9%	17.1%
	R元 第三期	40.7%	36.8%	17.1%	5.5%	77.5%	22.6%
	R2 第四期	44.0%	38.9%	12.8%	4.3%	82.9%	17.1%
	R3 第四期	49.3%	35.6%	9.5%	5.6%	84.9%	15.1%
	R4 第四期	16.4%	74.4%	6.4%	2.8%	90.8%	9.2%
	R5 第四期	41.8%	41.4%	11.5%	5.3%	83.2%	16.8%
	R6 第四期	34.9%	45.9%	14.9%	4.4%	80.8%	19.3%

※H26は無回答が小学生0.4%、中学生1.0%ある。



- ・ 経年比較の結果、小中学生どちらにおいても、平成26年と令和6年の約10年の経過を比べても特に変化は見られず、約8割が好きと回答した。
- ・ 本参考を踏まえ、今後も読書が好きなお子・生徒を増やせるよう、計画を進めていく。